



# 飯田市 歴研ニュース

News Letter

No. 129

The Iida City Institute  
of Historical Research

2024年4月1日 発行

飯田市歴史研究所

〒395-0803

長野県飯田市鼎下山538

TEL 0265-53-4670

FAX 0265-21-1173

E-mail iihrc@city.iida.nagano.jp



## 新刊 案内

### 飯田下伊那地域史料現状記録調査報告書 3 松下祐輔氏所蔵 不二道等関係文書

2024年2月 刊行

飯田市歴史研究所 編  
A4判 276頁 定価3,100円



松下祐輔氏所蔵文書は、飯田池田町(現通り町2丁目)で味噌醤油を商った吉本屋松下家に伝わる文書です。松下家の祖に、江戸時代末期の民間信仰不二道の指導者松下千代(1799～1872)がおり、不二道に関する文書が多数含まれています。量も質も豊富な一級史料群です。本書では、現状記録調査による文書の伝来状況や史料一点一点の内容を報告しています。

また、史料紹介「松下家文書で読む不二道・松下家」を掲載しています。松下家文書を30年に渡り調査された宮崎ふみ子氏(恵泉女学園大学名誉教授)ら執筆陣により、伊那谷に不二道が伝わった経緯、松下千代の活躍、明治期に不二道が実行教、実行会になるまでを、史料を用いて解説しています。不二道研究の最先端に行く充実した内容です。さらに、伊原五郎兵衛の明治期の書簡や醸造業組合の文書など、戦前期の飯田商工業を知る上で貴重な史料も紹介しています。ぜひ多くの人にお読みいただければと思います。



松下千代像

この度、出版を記念してワークショップを開催します。宮崎ふみ子氏を始め、執筆者による研究報告を行います。本書の内容を紹介するとともに、これからの不二道研究の可能性についても考えます。

## ワークショップ 松下家文書で読む不二道・飯田

- 『松下祐輔氏所蔵不二道等関係文書』の趣旨と概略／竹村 雄次 (歴史研究所特任研究員)
- 伊那谷の富士信仰と松下千代 一江戸から明治へ／宮崎 ふみ子さん (恵泉女学園大学名誉教授)
- 不二道信者の行と信州信者の分布／竹村 雄次 (歴史研究所特任研究員)
- 不二道、実行教、実行会の系譜／栗谷 真寿美さん (歴史研究所市民研究員)
- 昭和戦前期の飯田商工業、伊原五郎兵衛の中央線誘致運動／伊藤 悠 (歴史研究所研究員)

日時：4月20日(土) 13:00～16:10

会場：飯田市役所C棟3階会議室

資料代：200円

申込み：①会場での受講 ②オンライン受講のどちらかでご受講いただけます。

会場は4月18日(木)、オンラインは4月9日(火)までに、  
電話・FAX・メールのいずれかで、受講方法と電話番号をお知らせください。

※オンライン受講は郵便番号と住所もお知らせください。

右のQRコードからもお申込みいただけます。



# 募集

## 市民研究員候補 歴史研究活動助成 飯田歴研賞2024候補作品

歴史研究所では、飯田・下伊那を対象とした地域史研究のさらなる発展を目指して、研究者の養成、研究活動への助成、優れた研究成果の表彰を行っています。2024年度も市民研究員候補、歴史研究活動助成、歴研賞候補作品を募集しますので、奮ってご応募ください。

(各募集の要項や申込書等は歴史研究所のホームページよりダウンロードできます。)

### 市民研究員候補募集

市民研究員候補として、市民研究員養成課程の2年間で、飯田・下伊那の地域史にかかわるテーマの研究に取り組んでいただきます。研究員の指導のもと、各種の教育プログラムを通して、歴史研究の基礎を学びながら、修了論文の作成を目指します。課程修了後は市民研究員となり、歴史研究所の調査研究活動にご参加いただけます。

- ★募集人数 若干名
- ★応募方法 要項をご確認のうえ、申込書を歴史研究所へ提出してください。
- ★募集期間 5月1日(水)～7月31日(水)必着
- ★審査結果 書類審査と面接を行い、8月末までに採否をお知らせします。

### 研究活動助成募集

飯田・下伊那を対象とした歴史研究活動に経費の助成を行います。

- ★応募資格 ①飯田市内や下伊那郡内に住所を有する団体、②卒業論文を作成する大学生、または修士論文を作成する大学院生
- ★研究期間 2025年2月まで。大学院生は2026年2月までも可。
- ★助成金額 10万円以内。大学院生が2年間助成を受ける場合は、2年間で15万円以内。
- ★応募方法 要項をご確認のうえ、申請書と研究計画書を歴史研究所へ提出してください。
- ★募集期間 5月1日(水)～7月31日(水)必着
- ★審査結果 書類審査などを行い、8月末日までに本事業に適した研究か審査します。
- ★助成金の交付 研究期間の終了後、実績報告書や成果報告などにより、本事業の目的や助成条件に適した研究か審査して、助成金を交付します。

### 飯田歴研賞2024 候補作品募集

前年度に発表された飯田・下伊那の地域史研究に関する優れた作品に歴研賞(著作賞、論文賞)や奨励賞をお贈りしています。その候補作品を募集します。自薦・他薦は問いません。

- ★対象作品 2023年4月～2024年3月に刊行・発表された著書・論文(自費出版を含む)
- ★募集期間 5月1日(水)～6月29日(土)(作品を持参または郵送してください)



## 幻の歴史研究所移転計画

樋口 貴彦（職業能力開発総合大学校／歴史研究所調査研究員）

2014年、私が飯田市歴史研究所に研究員として着任して半年も経たない頃、飯田市は県立工業高校跡地利用として市民や近隣町村の住民も利用する広域施設として「知の拠点」づくりの事業計画を立ち上げました。飯田市歴史研究所は、南信州地域をフィールドとした歴史の調査や地域住民との学習研究活動を実践して、まちづくりに貢献する中核的な機関の一つとして移転を予定し、将来にわたって地域の古文書や非現用文書を一括して収蔵することが可能な十分な保管庫を設ける施設の概要が繰り返し議論されていました。

私自身は当時、工業高校のフロア図を基に地域計画課と折衝を重ねながら移転後の各施設の配置プランを練る業務を担当しており、一般的な図書館や博物館の計画を参考に、教室棟の1階部分は稼働棚を設けた収蔵庫として活用し、2階部分は資料のレファレンススペースや季節ごとに企画展を開催する展示スペース、市民ゼミや各種の講座を行う多目的室、知の拠点に入る他機関と共用で使用するラウンジ等を計画していました。計画立案の過程では、地域計画課の皆さんと2015年に岐阜市に新設され先進的な施設として話題となっていた伊東豊雄氏設計の「ぎふメディアコスモス」を視察して、下伊那広域の市民が利用する「知の拠点」の姿を思い描いていたことが今も良い思い出となっています。

ご存じの通りその後2016年には歴史研究所の工業高校跡地への移転は中止になり、2年以上を費やして検討してきた移転後の施設計画が実現することはなかったのですが、その後も私の中には、幻となった「知の拠点」の一翼を担う歴史研究所の姿が残ったままになっています。そんな私が、現在は建築計画分野の教員として地域施設の計画を教える授業を担当していることは、何とも不思議な巡り合わせだと感じています。

### 史料紹介

## 羽生三七文書

羽生三七文書は、2007年に歴史研究所が寄贈を受けた史料です。鼎村長や参議院議員などを歴任した羽生三七氏が残した史料の多くは国立国会図書館憲政資料室に収蔵されていますが、歴史研究所では、「治安警察法違反事件刑事記録」第1～5分冊（以下「刑事記録」、1924年）5点、「記録（一）県連合会関係」（労働農民党南信支部、1927年）1点の計6点の簿冊を羽生三七文書として所蔵しています。

前者の「刑事記録」は、1924（大正13）年3月に飯田で起きたLYL事件と呼ばれる事件に関する史料です。LYLは大正期の下伊那で羽生氏らを中心に結成された組織で、郡内で社会・政治運動を展開する他の青年団体などと連携して活動していましたが、1924年に治安警察法違反として関係者が一斉検挙されることとなります。本史料には、検挙後の予審終結（戦前の刑事訴訟手続で公判前の段階）に至るまでの聴取書・訊問調書・予審終結決定書などの複写が綴られています。LYLの活動内容や構成者間の関係、さらに郡外の社会主義者との交流や思想団体に対する当時の司法関係者の認識などが見え、治安維持法制定（1925年）直前の刑事記録として重要な史料です。後者には、羽生氏も参加した無産政党である労働農民党長野県支部連合会から南信支部宛に出された週報や指令などが綴られており、大正期における労働農民党地方支部の活動の一端を知ることができます。

なお、「刑事記録」は、LYL運動100周年記念事業実行委員会が今年5月に開催する集会で展示される予定です。



伊藤 悠（歴史研究所研究員）

# 新刊案内

## 飯田市歴史研究所 年報⑳

2024年2月 刊行

飯田市歴史研究所 編  
B5判 243頁 定価2,200円

特集「満洲移民—下伊那から再考する—」は2022年9月に開催した第19回飯田市地域史研究集会の成果をまとめたものです。6本の論考と2本の参加記を載せています。また、17世紀の清内路村に関する研究ノート、新出の飯田歌舞伎座史料の紹介、牧原成征氏の著書『日本近世の秩序形成』の書評、清内路の建造物や天龍社資料の調査報告、歴史研究所20年間の活動記録、新刊紹介なども掲載しています。最新の地域史研究の成果をお楽しみください。

### 【特集】満洲移民—下伊那から再考する—

- 日中戦争—戦争拡大の構図— . . . . . 加藤 陽子
- 日中戦争下の募集と送出一地域指導者と下伊那の人びと— . . . 本島 和人
- 下伊那の中の満洲—原史料を読み解く— . . . . . 齊藤 俊江
- 満洲体験が人生の指針に—看護師として生きる— . . . . . 橋本 珠子
- 沈黙を聴く—ドキュメンタリーの現場から— . . . . . 手塚 孝典
- 想起と対話の「場」—記念館レポート— . . . . . 三沢 亜紀

### 【研究ノート】

- 17世紀清内路村における庄屋新蔵家の果たした役割 . . . 坂本 広徳

### 【史料紹介】

- 飯田歌舞伎座新史料 . . . . . 竹村 雄次 ほか



## 定例研究会

※聴講をご希望の方はお電話ください

### ▶寛文・延宝期の下条領の編成と変化

報告者 前澤健 (歴史研究所特任研究員)  
開催日 4月27日 (土)

時間 14:00~16:00  
会場 歴史研究所 研修室

受講生  
募集中!!

## 歴研ゼミ&ワークショップ4月・5月の予定

会場:歴史研究所 研修室

### 近世史ゼミ

担当:羽田 真也(研究員)  
4月10日・24日/5月8日・22日  
(第2・第4水曜日) 18:30~20:30

### NEW / 建築史ゼミ

担当:岩田 会津(研究員)  
4月19日・5月17日  
(第3金曜日) 18:30~20:30

### NEW / 地域史ゼミ

担当:伊藤 悠(研究員)  
4月12日・26日/5月10日・24日  
(第2・第4金曜日) 18:30~20:30

### 思想史ワークショップ

市民の皆さんが自主的に学び合う場  
4月3日・17日/5月1日・15日  
(第1・第3水曜日) 19:00~21:00

### 満洲移民研究ゼミ

担当:本島 和人(調査研究員)  
第147回 4月6日/第148回 5月11日  
(第1土曜日) 10:00~11:40  
※5月は予定が変更となります

### 近現代史ゼミ

担当:田中 雅孝(調査研究員)  
4月27日・5月25日  
(第4土曜日) 10:00~11:40

ゼミ・ワークショップの詳細・お申込みについては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL: 0265-53-4670

開所時間:午前9時~午後5時 休所日:日曜日・月曜日・祝日・12月29日~1月3日  
メール配信への切り替えをご希望の方は、E-mail: [iihr@city.iida.nagano.jp](mailto:iihr@city.iida.nagano.jp) まで